



ふじのくにユースネット

わたしの主張2025 静岡県大会
が開催されました。📍 P2・3 特集をチェック!

2025年
8月21日(木)
御前崎
市民会館



令和7年6月11日(水)に総会と情報交換会が
開催されました。



11月は子供・若者育成支援推進強調月間です。

静岡県青少年育成会議では、子供・若者たちの明るい未来のため、「地域の子供は、地域の大人が育てる」をテーマに毎年県大会を開催しています。

静岡県大会 in 牧之原市

令和7年11月22日(土)

牧之原市相良総合センター い〜ら



演題

大家族石田さんちのおかあちゃん
-子どもに風邪を引かせない-

講師

石田 千恵子 氏
(大家族 石田家のお母さん)



contents

P2・3 特集

わたしの主張2025 静岡県大会
・最優秀賞作文・出場者発表要旨

P4

青少年育成会議会員コラボ事業の御紹介
子ども・若者相談センター「アンダンテ」の御紹介



第47回 わたしの主張 2025 ～今、中学生が伝えたいこと～

静岡県大会 in 御前崎市

開催日：令和7年8月21日（木）
会場：御前崎市民会館

／ 応募者数9391点の中から13人が静岡県大会に出場しました。／



最優秀賞

「人間になった僕ができること」

沼津市立片浜中学校3年 加藤 蒼士

そこに、愛はあるのか！僕は心の中でこう叫ばずにはいられませんでした。

2年前、40度近い高熱が出た僕は病院に行きました。病院はかなり混んでいましたが、すぐに看護師がやってきて、検査をしました。そこから2時間程度待ち、ようやく自分の名前が呼ばれて先生の前に座りました。するとその先生は顔も見ず、パソコンをパチパチ打ちながら言いました。

「インフルエンザだから。薬出しておきます。はい、お大事に。」

そう言って診察が終わりました。僕は会話することなく、病院を後にしました。わずか5秒といったところでしょか。工場のベルトコンベアの上に乗って流れている機械部品は、きっとこんな気持ちなのでしょう。そんなことを思わずにはいられませんでした。なんと悲しいことでしょうか。診断は間違っていないし、薬もいただきました。おかげですぐに熱も下がりましたが、そうではない僕の中の違う熱が沸々と沸き上がり、頭の中で温度計の数字が徐々に40度を超えていきます。くらくと、なのに沸々とした頭の中で、あの診察場面の5秒の映像が、何度も繰り返し再生されます。そこに愛はあるのか！そうつまり、愛、なかったです。この時から僕は、医者に対してネガティブな感情を持つようになってしまいました。

その1年後、神様のいたずらなのか、再び僕が機械部品になる機会が訪れました。またインフルエンザになったのです。あの時と同じ病院に行き、看護師による検査、そして長い待ち時間。なるほど、今僕はベルトコンベアに乗ったのだと、理解しました。名前が呼ばれ、先生のもとへ向かうと、前回は違った先生でした。するとその先生は、不思議なことから話し始めました。

「学校はどう？部活やっているの？熱で休まないといけないから大変だね。」

（あれ？ベルトコンベアが、止まった？）そこからしばらく中学校生活のことを話し、先生は何度も笑ったり悲しんだりの表情を見せてくれました。最後に先生は、この言葉を僕にくれました。

「でも大丈夫！すぐ良くなるよ。」

なんと力強い響きの「大丈夫」なのでしょう。この一言が、どれだけ僕にとっての薬になったでしょうか。皆さん、安心して下さい！愛、ありました！

さて、良い医者とはどんな医者でしょうか。それはきっと求める価値によって変わるものだと考えます。これらの経験を経て僕が思うのは、言葉の処方箋を出せる医者って素敵だなということです。病気を治すため、雑談などせず、とにかく1秒でも早く薬が欲しいという人もいますが、僕はもうベルトコンベアには乗りたくないのです。

最近、AIの発達によって医者が必要なくなる可能性があるというニュースを見ました。最新の医療と正確かつ迅速な診断、場合によっては手術も可能になるとのことでした。医者不足の解消にも繋がり、今後ますますAIの研究開発が進んでいくのだそうです。これは大変喜ばしいことです。でも、ちょっと待ってください。大事な事を忘れています。AIは、僕たちの日常生活の事、聞いてくれるのでしょうか？インフルエンザになったことで、バスケット部の練習試合に出られず、自分を責めて落ち込んでいた僕を救ってくれたのは、間違いなく、感情を持った人間の愛情ある先生の言葉でした。何でも便利になるからと、すべてをAIに頼ってしまうのは間違っていると僕は考えます。以前、病院のベルトコンベアに乗った経験のある僕が言うのですから、間違いありません。そこで、僕に1つの使命が降りてきました。医者になるという使命です。AIは正確な言葉を話すために、医療分野で「必ず」や「絶対」といった表現は使わないと聞きます。だからこそ、僕が患者さんに言ってあげたい。「必ず治してあげるから、絶対に大丈夫！」と血の通った愛ある言葉を。そこに愛はあるのだと。

加藤さんの発表は、会場の中学生審査員による共感賞にも選ばれました！



最優秀賞は、全国大会出場候補として関東・甲信越静ブロックへ推薦されます。

■ 主催：静岡県教育委員会、静岡県青少年育成会議、独立行政法人国立青少年教育振興機構 ■ 共催：御前崎市教育委員会
■ 後援：静岡県校長会、公益社団法人静岡県私学協会、静岡県PTA連絡協議会、静岡県私学保護者会 ■ 協賛：静岡県遊技業協同組合



優秀賞



「向き合って見える世界」 沼津市立愛鷹中学校 3年 金田 ゆな

障がいを持った姉と過ごす中で、私は偏見に満ちた態度や言葉がけに出会うことがありました。しかし、果たしてその人たちの見た姉の姿は、本当の姿でしょうか。もし障がいを持っている方と接する機会があったら、ぜひその人と向き合い知ろうとすることが大切だと私は考えます。



「地域と自分」 浜松市立佐久間中学校 3年 樽松 里哉

過疎化が止まらない天竜区佐久間町。そんな田舎で、中学生の自分ができることは何なのか。地域の伝統芸能である「川合花の舞」、地域のために尽くしてくれる「3人のおじさん」を通して考えました。地域への感謝の気持ち、地域への愛を持ち続ける、そんな人間でありたいと私は思っています。



「真のコミュニケーション」 静岡大学教育学部附属浜松中学校 3年 徳永 梨良

翻訳アプリが活躍する時代。普段何気なく使っている私たちですが、海外での体験学習を通して、一つの疑問が浮かびました。「翻訳アプリって、本当のコミュニケーションなの？」先の見えない現代だからこそ、自分の言葉で、想いで「真のコミュニケーション」をとることが大切なのです。



優良賞



「私を作るもの」 静岡県西遠女子学園中学校 3年 山下 ラリサ

15歳の私を作るものはバレエ部キャプテンとしての私と、ブラジルに祖先をもつことを誇りに思えるよう育ててくれた家族の一員としての私です。今後キャプテンとして身につけたリーダーシップを活かし、2つの文化の懸け橋となるようなシチズンシップをもって生きていきたいと思っています。

「食わず嫌いをやめて」 三島市立中郷中学校 3年 石渡 葉奈

恩師の先生の言葉に納得できない私は「食わず嫌い」をやめ「らしくない選択」をしたことで、言葉の真意を見つけることができました。もし皆さんが今、解決できない迷いや不安、疑問や不満を感じていたら、自分らしくない選択をしてみませんか？答えを見つける鍵になるかもしれません。

「脱マスクの時代で」 静岡市立豊田中学校 3年 一杉 奈緒

新型コロナウイルス感染症の流行から、約5年が経ちました。コロナ禍では当たり前だった「マスクの着用」が、コロナが収束した今は、コンプレックスを隠す手段として使われているように感じます。脱マスクの時代、ありのままの自分との向き合い方を考えました。

「戦争のない世界へ」 静岡県立中央特別支援学校中学部 3年 若林 純那

今も世界のどこかで戦争が起きています。友達を病気で亡くしたり、自分自身、手足に麻痺があったりする私にとって、戦争で命や体の一部を失ってしまうのはとても悲しいことです。そんな戦争を無くすためには、人々が思いやりの心をもつことが大切だと考えています。

「私たちに託されたもの」 御前崎市立浜岡中学校 3年 伊藤 亜姫

普段の何気ない挨拶や、過ぎていく四季のうつり変わりなど目に見えなくても美しいものが日本にはたくさんあります。そのような日本で生まれ育った私達は恵まれた環境に感謝し、もっと日本を良くしようと心掛け、日本人として誇りをもって生きていくことが必要ではないかと思っています。

「伝えたい思い」 清水町立清水中学校 3年 坂部 いろ花

もし、時間を巻き戻せるとしたら。そう考えたとき、浮かんできたのは祖母の笑顔でした。世界に別れがあると知らなかったあの頃、まだ幼かった私は、祖母との距離感を縮められずにいました。祖母の日記を捲るなかで蘇る思い出。私の生き方を変えてくれた祖母と、周りの人への感謝を伝えます。

「マスクとわたし」 磐田市立豊田中学校 3年 山下 ひなた

コロナ禍から始まったマスク着用。私は、今もなお家を出るときマスクを着けています。マスクは、私にとって自分を守ってくれる鎧のようなものでいつのまにかなくてはならない存在となっていました。そんな私は、紙切れ一枚のマスクとの付き合い方を考えました。

「中学生である今、私達に求められていること」 静岡市立服織中学校 3年 芦沢 真央

今、私たち中学生には、自分で考えて判断することが求められています。それはなぜでしょうか。私は、これから何が起こるか分からない将来に向けて、「将来を生きていく力」をつけるためだと思います。自己判断や相手への思いやりを大切に、この力を育てていきたいです。

「挑戦を恐れない」 吉田町立吉田中学校 3年 堀川 莉花

失敗が怖くて挑戦できなかった私ですが、小学生の運動会をきっかけに自分を変えたいと思い、挑戦するようになりました。様々な経験を通して自分と向き合い、努力を重ねる中で自信や強みを見つけることができました。今ではたとえ失敗しても、挑戦には意味があると私は信じています。



大会当日のアトラクションとして、なぶら御前太鼓保存会の皆様に、迫力ある演奏を披露していただきました。

青少年育成会議の会員同士の コラボレーションが実現しました。



いらっしゃいませー！
ぼくたちがつくった
ジャガイモです



ありがとう
ございました。
おいしいですよー

天竜三俣駅前
野菜の販売体験を行いました。



おつりは
いくらかな...

青少年育成会議の情報交換会がきっかけとなり、
天竜浜名湖鉄道様と認定NPO法人COMPAS様との
コラボレーションが実現しました。
天竜二俣駅前のスペースをお借りして、
野菜の販売体験を実施しました。

青少年育成会議では団体同士が活動に関する情報や悩みを共有し、
連携を深めることを目的にオンラインサロンなども開催しています。

子ども・若者相談センター「アンダンテ」の御紹介

こんなお悩みありませんか？自分の考えを相手に伝えることが苦手、社会に受け入れてもらえるのか不安、そもそも何をしたらいいのかわからない...。悩みや困りごとを抱える30歳代までの子ども・若者とその家族の方を対象に相談ができます。ぜひ御活用ください。

社会との向き合い方は十人十色。
あなたに合った距離を
一緒に見つけます。

相談

- 選べる相談スタイル、しっかりサポート
- 対面・電話・WEB、あなたに合わせた45分
- 予約制で安心、メール相談も受付中

開所日 月曜日～土曜日（祝日はお休み） 時間 13:00～16:00

フリー スペース

開所時間中は予約なしで利用可能！
自分のやりたいことをやりたいだけ！
スペースを自由に使えます。

※支援員が常駐しています。わからないこと、困ったことがあればお声がけください。

開所日 月曜・火曜・木曜・金曜（祝日はお休み） 時間 13:00～16:00

交流 イベント

レクリエーションイベント等企画していきます。
相談者のご家族のためのイベント（家族会）も
定期的に関催しています。

場所

静岡県男女共同参画センター あざれあ 5階 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1 TEL: 054-255-0600



子ども・若者相談センター

アンダンテ



詳細は
WEBサイトを
チェック！



Instagramもやってます！

編集・発行

静岡県青少年育成会議事務局 静岡県教育委員会社会教育課内
〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

入会問合せ

TEL: 054-221-3305 FAX: 054-221-3362

Email: kyoui_shakyo@pref.shizuoka.lg.jp